

## G1NHKマイルC 2023 全頭診断書

【NHKマイル過去10年データ】

「血統傾向」

父：サンデー系

過去10年の3着以内馬30頭のうち、  
父にサンデー系種牡馬を持つ馬は16頭。  
そのうちダイワメジャー産駒が6頭。  
ディープ系種牡馬産駒が5頭。

ダイワメジャー産駒の場合、父自体が持続型なので  
母系の配合に注文は付きません。

父がディープ系の場合は、母父に米国型ND系か  
ミスプロ系、ダンチヒ系と言った持続力を補完する  
血を持つ事が重要となります。

父：非サンデー系

父が大系統ND系の馬が8頭。  
父が大系統ミスプロ系の馬が5頭。  
父がナスルーラ系が1頭

父：米国型ND系の場合、母父に中長距離型サンデー系。  
父：キングマンボ系の場合、母父に大系統ND系。

前走が1400mだった馬は、  
米国型やミスプロ系の影響が濃い血統馬

である事が理想的です。

## 『キャリア』

キャリアが豊富な馬が強く、キャリア5戦・6戦が馬券の中心。

2桁人気で馬券に絡んだ馬でも、

重賞も含めたOPクラスで好走歴がありました。

人気薄狙いは、OPクラス実績が重要なポイントになります。

「前走が重賞・OPクラスで2人気以内で連対」

この条件に適う馬は過去10年で12頭が馬券絡み。

着度数(5・6・1・21/33)

勝率:15.2%/単回率166%

複勝率:36.4%/複回値159%

前走G1桜花賞

【2勝・2着2回】

前走G2ニュージーランドT

【2勝・2着1回・3着2回】

前走G1皐月賞

【2勝・2着1回・3着1回】

前走G3アーリントンC

【1勝・3着4回】

前走G3ファルコンS

【1勝・2着1回・3着1回】

この「全頭診断書」は、  
例年通りの持続ラップを前提に評価しております。

・ウンブライル(キャリア5戦・中3週)  
父:ロードカナロア(欧キングマンボ系/ミスプロ系)  
父母父:米ストームキャット/ND系  
母父:ファルブラヴ(欧フェアリーキング系/ND系)  
祖母父:米サンデーサイレンス

全兄のステルヴィオはG1マイルCS優勝馬で  
G1朝日杯FSの2着馬。また、持続ラップだった  
当コース2歳重賞サウジアラビアRCの2着馬。

全姉ステルナティーアも、  
当コース2歳重賞サウジアラビアRCの2着馬。

父ロードカナロアは母父がストームキャット。  
母父のファルブラヴは、日本と豪州ではスプリント戦で  
活躍馬を出す「持続力強化血統」に該当します。

なお、祖母父サンデーサイレンスは、  
米国ダートの2冠馬でしたので、米国型として扱います。

キャリアは5戦で、OPクラス実績は十分。

同コース重賞のクイーンカップは1人気6着に敗退。  
この時のラップパターンが持続ラップでしたので、  
忙しい競馬は合わないタイプか？  
と考えておりましたが、ルメール殿のコメントが  
「ズブイのでブリンカー付けた方がイイデスネ。」

そして次走(前走)のG2ニュージーランドで

プリンカーを付けて5人気2着に好走致しました。

その時のラップは、前傾ラップの消耗戦であり、  
また、牡馬を相手に「内有利馬場」の大外枠。

不利な馬場傾向をはねのけての2着は  
非常に価値があると評価しております。

※今回はルメール殿がケンタッキーダービー騎乗の為  
渡米中ですので、横山武殿に乗り替わります。

血統評価：B

実績評価：B+

ラップ適性：A

相対指数：B

・エエヤン(キャリア5戦・中3週)

父：シルバーステート(ディープ系)

父母父：シルバーホーク(欧ロベルト系)

母父：ティンバーカントリー(米ミスプロ系)

祖母父：米ダンチヒ(ND系)

ディープ系種牡馬と米国型の母系は好配合。

父は現役時代に前傾ラップの中京マイルで  
2歳レコード(稍重だったのに)を塗り替えた  
持続力に富んだ競走馬でした。

現在中山マイルで3連勝中ですが、  
東京コースでは2戦して3着が1回。

この結果は、「東京よりも中山が合う」と言う  
種牡馬シルバーステートの影響が強い可能性を示しており、  
今回はパフォーマンスを落とす事も考えられます。

血統評価:C  
実績評価:B  
ラップ適性:A  
相対指数:A

・オールパルフェ(キャリア5戦・中6週)  
父:リアルスティール(ディーブ系)  
父母父:米ストームキャット(ND系)  
母父:ルーラーシップ(欧キングマンボ系)  
祖母父:アグネスタキオン(Pサンデー系)

リアルスティール産駒の傾向は、  
後傾ラップ(加速ラップ)のレースで穴をあげ、  
前傾ラップでは一部の人気馬が好走。

本馬自身にもその傾向が見受けられ、  
デイリー杯勝ちも、前有利馬場と展開に  
恵まれた事は否定できません。

朝日杯では、内有利馬場に恵まれたものの、  
前傾ラップを自ら作り出して6着敗退と、  
持続力に欠ける競馬でありました。

血統評価:C  
実績評価:C  
ラップ適性:D  
相対指数:D

・オオバンブルマイ(キャリア4戦・中2週)  
父:ディスクリートキャット(米ストームバード系/ND系)  
父母父:米ダマスカス  
母父:ディーピンパクト

祖母父:サクラバクシンオー(プリンスリーG系/ナスルーラ系)

昨年18人気3着に激走したカワキタレプリーと  
同じく「**ストームバード系**×**ディープインパクト**」の配合。

米国型ND系とディープインパクトの配合は  
コース複勝率42.9%/複回率721%!

父母父ダマスカスは持続力超強化血統。  
祖母父にも持続力型ナスルーラ系を持ち、  
血統構成としては文句なしだと考えます。

京王杯2歳Sは、前後半のラップがほぼイーブンの  
典型的な平坦持続ラップで10人気1着。

朝日杯は出遅れがこたえた事と、  
距離延長ローテなのに前走よりも前半3Fが速く  
能力を出し切れませんでした。

前走は雨の影響で重い馬場でも  
前半3Fが34秒1とかなり速い流れ。  
ラスト1Fタイムが最も時計を要する  
消耗戦を差し切り勝ち。

血統の字面通り「持続力のカタマリ」と申せましょう。

血統評価:A

実績評価:A

ラップ適性:A

相対指数:B

・カルロヴェローチェ(キャリア4戦・中6週)

父:シルバーステート(ディープ系)

父母父:シルバーホーク(欧ロベルト系)

母父:ロックオブジブラルタル(欧ダンチヒ系)

祖母父:サクラバクシンオー(プリンスリーG系/ナスルーラ系)

ディープ系×持続力血統の配合馬。

祖母は持続ラップの桜花賞2着馬で

スプリント重賞を5勝したシーイズトウショウ。

牝系を少し遡れば、持続ラップの安田記念を2勝した

ダービー牝馬ウオッカの名前もある、持続力豊かな

牝系の出身馬。

ただ、シルヴァーステート産駒の持続力は

中山や阪神コースでこそ生きる能力で、

東京マイルの持続ラップでは壊滅的な成績です。

最大の不安材料は、スプリント牝系出身馬の

距離延長ローテである事と、ここ2戦が

距離短縮での好走ですので、その反動がどうか？

と言うところがございます。

血統評価:C

実績評価:B

ラップ適性:A

距離ローテ:不安

相対指数:B

・クルゼイロドスル(キャリア4戦・中16週)

父:ファインニードル(欧フォーティナイナー系/ミスプロ系)

父母父:欧ミルリーフ系(ネヴァーヴェンド系/ナスルーラ系)

母父:アルカセット(欧キングマンボ系/ミスプロ系)

祖母父:ダルシャーン(欧ミルリーフ系/ナスルーラ系)

現状では、ファインニードル産駒はローカル向きで、

中央開催場では中山>東京のイメージですが...

母父アルカセットは現役時代にジャパンカップを当時のレコードタイムで優勝した東京の高速馬場に適応できる英国の競走馬でした。

フォーティナイナー系の父から持続力を与えられ、ミルリーフ系ダルシャーンの4×3クロスで持久力を与えられており、消耗戦になれば相当粘り強い競馬が出来そうな配合馬でございます。

直接的にNHKマイル向きと言うイメージは湧きませんが、上り時計を要するような展開や馬場になれば、前で残る可能性十分だと予想します。

血統評価:C

実績評価:B

ラップ適性:B

相対指数:B

・シャンパンカラー(キャリア4戦・中3週)

父:ドウラメンテ(欧キングマンボ系/ミスプロ系)

父母父:米サンデーサイレンス

母父:レックレスアバンドン(欧ダンチヒ系/ND系)

祖母父:テイルオブザキャット(米ストームバード系/ND系)

父がキングマンボ系の場合、母父ND系がモアベターな配合。

母父レックレスアバンドンは英・仏の1200mG1ウイナー。

母系が持続力強化血統ですが、消耗戦の前走ニュージーランドTは3着。

どちらかと言えば、東京コースでの瞬発力勝負でパフォーマンスが上がる「ダービー血統」のイメージ。

ベゴニア賞で降したヒップホップソウルが



フラワーカップ2着馬である事を考えますと、決して能力が低いわけではなく、東京コース替りはプラス材料だと考えております。

瞬発力が活きるような展開になれば、一発有るかも知れません。

血統評価：B  
実績評価：C  
ラップ適性：C+  
相対指数：C

・ショーモン(キャリア5戦・中2週)  
父：マインドユアビスケッツ(米ヴァイスリージェント系/ND系)  
父母父：トセット(米ヴァイスリージェント系)  
母父：ディーピンパクト  
祖母父：ザイーテン(欧ダンチヒ系/ND系)

マインドユアビスケッツは芝の穴血統。  
米国型ND系とディーピンパクトの配合は  
コース複勝率42.9%/複回率721%!

持久力に富む血統構成で、体型も持続力タイプ。

重賞では3着が2回ですが、持続ラップだった1勝クラスでは無難に先行押し切り。

キャリア5戦全てで2番手追走と安定した脚質と、馬券圏外が1度もない「相手なりに走る」展が本馬の長所。

血統評価：A  
実績評価：C  
ラップ適性：B  
相対指数：C

・シングザットソング(キャリア5戦・中3週)

父:ドウラメンテ(欧キングマンボ系/ミスプロ系)

父母父:米サンデーサイレンス

母父:マイゴールデンソング(米ミスプロ系)

祖母父:ディキシーランドバンド(米ND系)

血統の字面としては持続力強化血統ですが、  
母系にディキシーランドバンドが入ると  
非根幹距離適性がアップしてしまう傾向もあります。

前走の桜花賞は、NHKマイルのラップパターンと  
非常に似通ったものでしたが、そこで好走出来なかったのは  
少し残念なポイントだと思います。

ただ桜花賞は、前走のフィリーズレビュー優勝が  
距離短縮ローテによる好走からの距離延長で、  
反動が大きかった可能性も考慮すべきところではあります。

そのフィリーズレビュー(1400m)は、  
かなりの消耗戦ラップでしたから、持続力勝負は  
ウエルカムなのだろうと考えます。

非根幹距離だから勝てたのかも知れませんが・・・

血統評価:C+

実績評価:C+

ラップ適性:B

相対指数:B

・セッション(キャリア5戦・中2週)

父:シルバーステート(ディープ系)

父母父:シルバーホーク(欧ロベルト系)

母父:ドバウイ(欧ミスプロ系)

祖母父:インディアンリッジ(欧トウルビヨン系)

血統構成が完全に欧州指向で、  
タフなコースのタフな流れやタフな馬場でこそ  
と言ったイメージの配合です。

祖母父のインディアンリッジは欧州血統の中では  
短距離戦で求められる持続力の源ではあるのですが・・・

父シルバーステートの特性も含めて  
NHKマイルで好走するイメージには  
繋がりにくいと言うのが拙者の診断になります。

血統評価:E

実績評価:B

ラップ適性:B

相対指数:B

・ダノンタッチダウン(キャリア4戦・中2週)

父:ロードカナロア(欧キングマンボ系/ミスプロ系)

父母父:米ストームキャット/ND系

母父:ダンシリ(欧ダンチヒ系/ND系)

祖母父:ダイシス(欧エタン系/ネイティヴダンサー系)

キングマンボ系×ND系の配合はNHKマイルの好走配合。

母父のダンシリの現役時代は、G1勝ちはありませんでしたが、  
仏、米の1400m~1600mG1で6度馬券に絡んだ  
マイラーズプリンターでした。

日本では母系に入って1600m以下での  
スピードと持続力を強化する役目を果たす血となっています。

祖母父ダイシスは母系から中距離向きのスピードと成長力を補完する血統でございます。

半兄のダノンザキッドは父がジャスタウェイで、2000mが適距離ですが、本馬はマイラー色が強く、消耗戦になったG1朝日杯FSで2着に好走。

またデビュー以来、毎回必ず馬場傾向に不利があり、展開にも恵まれない可哀想な星の元に生まれております。

それでも、馬場が重くて走れなかった皐月賞以外は3戦全てで連対しており、レースのラップパターンを選ばず、上り最速をマーク出来る「展開への適応力」を持っております。

残念なことに、日曜日降水確率80%以上の天気予報で、雨馬場になると皐月賞のように、のめって走れないかも知れません。

血統評価：B+

実績評価：B

ラップ適性：S

相対指数：A

タマモブラックタイ(キャリア7戦・中6週)

父：デクラレーションオブウォー(欧ダンチヒ系/ND系)

父母父：ラーイ(米ブラッシンググループ系/ナスルーラ系)

母父：ブラックタイド(Tサンデー系)

祖母父：キングカメハメハ(欧キングマンボ系/ミスプロ系)

デクラレーションオブウォーは英国の1600mと2000mのG1勝ち馬です。

産駒も2000m位までは守備範囲。

ただ、本馬の場合は牝系がスプリント牝系で、

この牝系は、父に長距離重賞実績馬を持たせない限り、東京のマイルは少し長いようでございますな。

とは言え、先行タイプのダンチヒ系種牡馬産駒は「うわ！残りよったがなあ」という事もありがちですので、警戒は必要かと。

【ちなみに参考データ】

前走で先行していたデクラレーションオブウォー産駒(芝)

着度数:5・4・4・11/24

勝率:20.8%/単回率227%

複勝率:54.2%/複回率145%

※ただし、狙うなら「中山・阪神」で、東京は少し苦手。

ラップ的には、近3走が全て消耗戦ラップのレースで、距離さえもてば、ペースが上がってもヘッチャラでしょう。

血統評価:注

実績評価:C

ラップ適性:A

相対指数:B

・ドルチェモア(キャリア4戦・中3週)

父:ルーラーシップ(欧キングマンボ系/ミスプロ系)

父母父:トニービン(欧グレイソヴリン系/ナスルーラ系)

母父:ディープインパクト

祖母父:ストームキャット(米ストームバード系/ND系)

父がルーラーシップと言うのが少し引っ掛かるのですが、母父にディープを持つと、意外と持続ラップの東京1600mで好成績を収めております。

本馬は消耗戦ラップになったG3サウジアラビアRCで、2番手から上り最速33秒4の末脚で完勝しており、

その辺りは、ルーラーシップの先行馬らしさと申せましょう。

前走のニュージーランドTは、非ノーザンファーム生産馬の休み明け。  
4ヶ月ぶりの競馬で、厳しい展開となり息がもたなかった印象。

東京へのコース替わりはプラス材料ですが、  
「もしかして君、母譲りの早熟なん？」と言う  
不安もあり、叩いた上積みに期待する反面  
◎は打ちにくいなあ・・・  
と言ったところ。

血統評価：C+  
実績評価：A  
ラップ適性：A  
相対指数：A

・ナヴォーナ(キャリア2戦・中2週)  
父：ロードカナロア(欧キングマンボ系/ミスプロ系)  
父母父：米ストームキャット/ND系  
母父：ソルジャーホロウ(欧サドラーズ系/ND系)  
祖母父：ハイエストオナー(欧グレイソヴリン系/ナスルーラ系)

21年の優勝馬シュネルマイスターの半妹。

キングマンボ系×ND系の配合は良いのですが、  
気になるのは成長曲線が恐らく兄とは別物ではないか？  
と言う点でございます。

ロードカナロア自身、決して早熟ではなく、  
重賞初勝利が3歳秋で、G1初勝利は4歳春でした。

そこに、母父が「使って上向く」サドラーズ系、  
祖母父が遅咲きだったハイエストオナーとなると、  
キャリア2戦でG1好走というのは少々無理筋なのではないか？

と考えてしまいます。

血統評価:D

実績評価:E

ラップ適性:D

相対指数:E

・フロムダスク(キャリア6戦・中9週)

父:ボルトドーロ(米サドラーズ系/ND系)

父母父:APインディ(米ポールドルーラー系/ナスルーラ系)

母父:ジャイアンツコーズウェイ(米ストームバード系/ND系)

祖母父:キリズクラウン(米ポールドルーラー系/ナスルーラ系)

ガッツリと持続力血統を取り込んだ配合馬。

ボルトドーロの産駒は、本馬のみでデータはありませんが、

現役時代は米国の1700mダートG1を勝っております。

ボルトドーロの父メダグリアドーロは米国の2000mダートG1馬。

メダグリアドーロ産駒の距離適性は

1200mか1600mのどちらかに偏っており、

マイルは決して無理な距離ではない血統です。

4L系統全てが米国型血統という配合馬としては

17年に13人気2着と激走したリエノテソーロと同じ。

持続ラップだったG2京王杯2歳Sでは、

逃げてオオバンブルマイの2着に好走。

朝日杯の惨敗は、出遅れて競馬にならなかった事と、

距離延長ローテの影響も少なからずあったと思います。

クロッカスS(東京1400m)は加速ラップの瞬発戦で

持ち味を活かせずに、瞬発力が活きた2頭に交わされ

3着に終わりましたが、このラップパターンでチョイ負けした事は

裏を返せば持続ラップへの適性の高さの証明と言えるでしょう。

前走はサウジアラビアのダート1600重賞に連れていかれ大敗しましたが、これはダート戦であり参考外。

今回は「同距離ローテ」での1600m戦。  
距離がもつならノーチャンスではないと考えます。

血統評価:特注

実績評価:B

ラップ適性:A

相対指数:D

・ミシシピテソーロ(キャリア7戦・中3週)

父:ダノンバラード(ディーブ系)

父母父:アンブライドルド(米ミスプロ系)

母父:APインディ(米ポールドルーラー系/ナスルーラ系)

祖母父:デインヒル(欧ダンチヒ系/ND系)

父ダノンバラードの特性を受け継いだようで、  
上り時計の掛かる展開・馬場が向いている印象。

中途半端な持続ラップより、  
極端な消耗戦でパフォーマンスを上げるタイプ。

今週末は雨予報なので、  
一応の警戒は必要だと考えます。

血統評価:B

実績評価:D

ラップ適性:C(消耗戦向き)

相対指数:D



・モリアーナ(キャリア5戦・中3週)  
父:エピファネイア(欧ロベルト系)  
父母父:スペシャルウィーク(Tサンデー系)  
母父:ダイワメジャー(Pサンデー系)  
祖母父:グランドロジ(欧ダンチヒ系/ND系)

NHKマイルの好走血統ダイワメジャーが母父。

ダイワメジャーの持続力を活きるのは先行してこそ。  
輸送でイレコミ、道中で引かかった阪神JFの反省?とやらで  
クイーンカップは後方待機の競馬を試して切れ負け3着。

今回は主戦の武藤殿が降板させられ、  
ノリさんに乗り替りになります。

G1のノリさんは奇襲がよくありますので、  
先行させるようなら侮れぬ存在でございましょう。

血統評価:B+  
実績評価:B  
ラップ評価:B  
相対指数:B

・ユリーシャ(キャリア5戦・中2週)  
父:グレーターロンドン(ディープ系)  
父母父:ドクターデヴィアス(欧トウルビヨン系)  
母父:ハービンジャー(欧ダンチヒ系/ND系)  
祖母父:スペシャルウィーク(Tサンデー系)

ディープ系×ND系の配合は吉。

母父にハービンジャーを持つ馬は、  
持続ラップを好むタイプが多いのですが・・・

この馬の場合は、加速ラップの方が良さそうですね。

前に行くタイプが多いメンバー構成のここは  
この馬には厳しい流れになりそう。

血統評価:B

実績評価:B

ラップ評価:D

相対指数:B